

特別支援



地域の方との交流もコロナ禍前のように活発に戻ってきただけでなく、各学部、新たなチャレンジにも取り組んだ1年でした！！

小学部 冬の遠足



小学部では、1月末に今年もカムイみさかスキー場へ冬の遠足へ行ってきました。どの児童も一人でソリに乗ることができ、足でブレーキをかけるもの上手になりました。雪遊びでは、大きな雪山に登ったり、雪玉を作って雪合戦をしたりと、色々な遊びを楽しみました。お昼ご飯は待ちに待ったカレーライスです。さらに今年は、お小遣いで自分の好きな飲み物を買うことにもチャレンジ！一日を通してとても充実した冬の遠足となりました。



中学部 地域交流



12月の地域交流として、新紺屋地区のシニアクラブの皆さまと附属幼稚園の年長児をお迎えし、「なかまコラボ☆フェスティバル」を実施しました。生徒たちは、これまで熱心に取り組んできた歌やダンスを発表し、会場の皆さまと一緒に体を動かしながら楽しい時間を共有しました。さらに、お店屋さんコーナーでは中学部の生徒が店員となり、ご来場の皆さまにさまざまな遊びを体験していただきました。会場は、子どもたちの輝く笑顔や夢中で遊ぶ姿、そして地域の皆さまのあたたかな表情に包まれ、心温まる交流の場となりました。



高等部 きりの子バザール



高等部の作業学習では木工班と手工芸班で製品づくりに取り組んでいます。販売会では本校の保護者や児童生徒だけでなく、評議員の方々や地域のシニアクラブの方もお招きし、みごと完売することができました。後日、売上金から給料をもらい、甲府市内のレストランで食事会を開きました。生徒達は達成感を味わいながら、労働と対価についても理解を深める機会となりました。



夏休みの間に高等部棟のエレベータが完成し、3年前から始まった改修工事がついに完了しました。すっかり新しくなった校舎で公開研究会を実施し、今年は6年ぶりに授業公開もすることができました。県内外から200人近い参加があり、笑顔いっぱいの子どもの様子を皆さまに見ていただくことができました。

本年度も、教育学部はもちろん医学部生も含めた実習生、他校の同世代の仲間、附属幼稚園の子どもたち、地域の方々との活動を通じた交流など、様々な出逢い・つながりを実感することができました。

副校長 鷹野美香

きりの華 25

Kiri-no-ka

第15号
2026年3月発行
山梨大学教育学部附属
幼稚園・小学校
中学校・特別支援学校

幼稚園

本年度も山梨大学附属四校園の学校園活動・各種事業にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。幼稚園舎等の改修を始め、さまざまな環境整備を進めており、お力添えをいただいておりますこと感謝申し上げます。子どもたちの学校園での生活がより充実したものとなるよう、さらに取り組みを進めて参ります。

新園舎が完成しました！！

約半年間に及ぶ園舎の改修工事が完了し、新しくなった園舎での生活が始まりました。

9月からの仮設園舎での生活は、子どもたちにとって大きな環境の変化でした。それでも「新しい幼稚園だね！」と受け入れる子どもたちの柔軟性と保護者の皆様のご理解に支えられ、環境を工夫しながら過ごして参りました。毎年行ってきた行事は、特別支援学校の体育館や小学校のおおぎりホール、中学校の赤レンガ館、大学の大学記念ホールなどをお借りして開催するなど、大学附属としての協力を得られたことは、とても心強く感じられました。そして、今年2月中旬に新園舎に戻ってきた子どもたちは、「ピカピカになった！」「お部屋に水道ができたよ」「トイレにもすぐ行けるんだよ！」など、変化を喜びながら過ごしています。

創立81周年目を迎えた附属幼稚園。きれいになった園舎に響く子どもたちの元気な声は、また新たな歴史を紡いでいってくれることでしょう。

近隣の皆様方には工事に伴い、大型車両の通行や建設音などでご迷惑をおかけしたことを存じます。本園の教育活動を含め、いつも温かく見守ってくださり、心より感謝申し上げます。



令和8年度 いちごぐみ・さくらんぼぐみ



未就園児の親子向けイベントを企画しています。
ぜひご参加ください！！

詳しくは4月以降、本園のホームページをご確認ください。



Instagramは
こちら



お問い合わせ：令和7年度附属4校園事務局（附属小学校）055-220-8291
発行番号は2021年(令和3年)初号からの通算番号です。



山梨大学附属小学校児童会

あおぎり祭り

例年晩秋に実施される本校児童会の最大行事「あおぎり祭り」と、それに併せて開催される PTA 関連事業についてご紹介します。

今年度は創立 150 周年を迎え、あおぎり祭りも節目の年であることを意識した内容となりました。まず、前日祭では、全校児童が体育館に集まってテーマの確認を行い、その後「附属小万博クイズパビリオン」と題したゲームを楽しんだり、あおぎり祭り当日に出展されるたてわり学級ごとの個性あふれるお店紹介をしたりするなかで、本番に向けた気持ちを高めていました。本校は 600 名近い児童が在籍しており、甲府の中では大規模校となります。たてわり活動を通じて、普段交流する機会の少ない異学年との多くの出会いと豊かな体験を重ね、「心美しき子ども」の実現につなげていきたいと思えます。

PTA 関連事業としては、文化展・バザー・マルシェ・喫茶が開催され、学校委員（PTA 役員）の皆様には企画・運営に多大なるご尽力を賜りました。さらに、多くの保護者・ご家族のご来校により、お祭りの雰囲気盛り上げていただきました。あおぎり祭りに限らず、保護者の皆様にはお忙しい中、日頃から学習参観・PTA 総会等をはじめとする学校行事に最大限のご参加・ご協力を頂戴しております。このような保護者の皆様の学校に対する協力的な姿勢も、本校を支える宝物の一つであると感じています。



6年生に感謝を込めて…「ありがとう集会」



これまでたてわり活動をはじめ様々な場面でお世話になった 6 年生に感謝を伝える「6 年生ありがとう集会」が、今年も 2 月 25 日に開催されました。インフルエンザの流行による限られた時間と条件の中で、新児童会役員と 5 年生が中心となって、全力で取り組みました。第 1 部では、たてわり班ごとに運動会やあおぎり祭りの取組で、身近にお世話になった 6 年

生への感謝の気持ちを言葉やプレゼントで伝え、思い出作りのゲームも行いました。第 2 部では、全校で体育館に集まり、学年ごとに工夫を凝らした出し物や映像による 6 年間の思い出の振り返り等を行いました。楽しい中にも、一人一人がこれまでの 6 年生との思い出を振り返る、あたたかい雰囲気の会となりました。



山梨大学附属中学校

探究のいろは（1 年）

1 年生の SELF では、「探究的な学習とは何か」をつかむために、まず「ふるさと山梨と私たち」というテーマのもと、身近な山梨の魅力を再発見するというミッションを掲げて学習を開始しました。この学習を通して、「問いを立て、本やインターネットを使って情報収集を行い、疑問をもってフィールドワークに行き、集めた情報を整理・分析して、自分たちなりの結論を得る」という探究的な学習のサイクルを経験的に学ぶことができました。

次に取り組んだのは「二ホンジカと二ホンカモシカ」です。この学習では、歴史的に山梨とかかわりの深い「二ホンジカと二ホンカモシカ」をテーマにして、「問いづくり」に焦点を当てて学びを深めました。この学習を通して、より深い問い——自分たちなりの考えが求められる問いを立てる力を磨くことができました。



伝統文化って何だろう？（2 年）

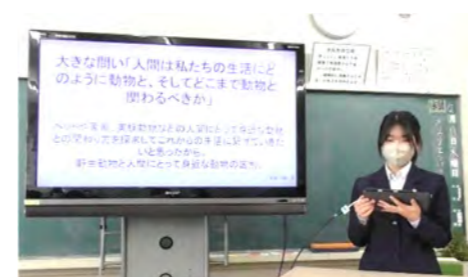
本校では、総合的な学習の時間を「Search」「Enjoy」「Life planning」「(with)Friends」の頭文字をとって「SELF」と呼び、1 年生から探究学習を続けています。知識を得るだけでなく、学び方も学ぶ SELF は、これからの予測困難な時代を生き抜くための課題解決力を身につける授業です。2 年生は、「二ホンジカと二ホンカモシカ」「富士山と私たち」を経て、「22 世紀に残したい日本の〇〇」のテーマのもと、昨年 9 月から日本の伝統文化について探究を行っています。

2 月に行われた発表会では、約 4 ヶ月間にわたる探究の成果が、生徒の言葉によって紡がれていました。また、生徒一人一人が自身の探究学習をまとめた「伝統文化新聞」も個性が光る作品揃いで、レポート集として製本されることが楽しみです。来年度の若桐のつどい（修学旅行）を経てどんな結論にたどり着くのか。そして、最高学年での卒業研究にどのように生かされるのか。2 年生の探究の旅はまだまだ続きます。



3 年間の集大成 卒業研究（3 年）

3 年生は附属中での SELF の集大成として「卒業研究」に取り組みました。伝統文化から自身の興味や関心があるテーマに「問い」を見出し、その問いが研究するに値するものか、自問自答、また多くの仲間や先生方とも意見を交流させながら、完成を目指しました。2 月 16 日の授業参観で保護者の皆様も交えて発表会を行い、研究内容だけではなく自身の考えを堂々と、そして論理的思考に基づいて発表する姿を目の当たりにし、大きな成長を感じました。



この 3 年間の積み重ねで得た問題を捉え、考え、より良い方向に進む姿勢はまさにこれからの「人生」において大切にしなければならない要素が詰まっています。これからの人生において新たな問いを自らの考えの中で生み出し、この山梨の、いや世界に羽ばたいていく希望となることを期待しています。